

## 長崎森林管理署交渉（全国林野関連労働組合長崎森林管理署分会）

### 議事要旨

1 日 時 平成25年8月9日（金） 13：00～13：50（50分）

2 場 所 長崎森林管理署 会議室

### 3 出席者

長崎森林管理署	中原 一則	署長
	岩下 隆徳	次長
	小原 豊治	総括事務管理官

### 全国林野関連労働組合長崎森林管理署分会

	峯 良彦	執行委員長
	内海 康雄	書記長
	松井 弘喜	執行委員
	宮島 貴文	執行委員

### 4 交渉事項

- （1）一般会計移行後の安全対策及び労働条件について
- （2）複数担当区を管轄している現場管理機能について
- （3）職員の勤務条件に係る管理者の姿勢について

### 5 議事概要

- （1）一般会計移行後の安全対策及び労働条件について
- 組合） 4月からの一般会計移行に伴い、民有林との連携がこれまで以上に重要性を増すことになり、それを担う職員個々が要員不足により業務過多となっている。グループ内で複数の業務を担う現状もあることから、新たなポスト設置や非常勤職員配置などにより勤務条件を改善することを検討できないか。
- 当局） 大規模な異動により要員が減少したこと、又、更に新たな一般会計制度下での業務等で負担が生じていることは承知している。新たな非常勤職員の配置や事務改善などを進め、改善に努めて参りたい。
- 組合） 複数の担当区を管轄している森林官の業務が過多となっており、安全確保を図る面からも困難が生じている。森林官の再配置など現状を認識し改善に努めること。

当局) 安全の取組は最重要と認識しており、一般会計制度でも認識は変わるものではない。森林官が減少して負担が生じていることは承知しており、今後も様々な面から現場の状況把握に努め、効率的な業務運営に努力し安全の確保に努めて参る考えである。

(2) 複数担当区を管轄している現場管理機能について

組合) 境界巡検や保全巡視など現場管理機能を確保するため、非常勤職員の更なる雇用確保と業務範囲の拡大など柔軟な雇用などにより現場職員の勤務条件の向上を図ること。

当局) 現場の実態等を把握しながら、必要な非常勤職員の確保と実態に応じた雇用を図り勤務条件の向上に努めて参る考えである。

組合) 森林官は、民有林と連携した施業や自然災害発生時における地域・行政との綿密な連携など、責任と困難の度合いが増加していることから、その職責に見合うよう給与等の勤務条件の向上を図ること。

当局) 新たな組織では民有林との連携が重要であり、特に現場第一線を担う森林官は、地域のリーダーとして活躍し重要な役割を果たしている。又、地域技術官等と森林官が連携していくことが必要であると認識している。

(3) 職員の勤務条件に係る管理者の姿勢について

組合) 署の管理職が減った現状においても、職員との情報交換や交流等によりを明るい職場づくりに努めること。

当局) 署長自らリーダーシップを図り、職場の明るい雰囲気づくりにしっかりと取り組んで参りたい。